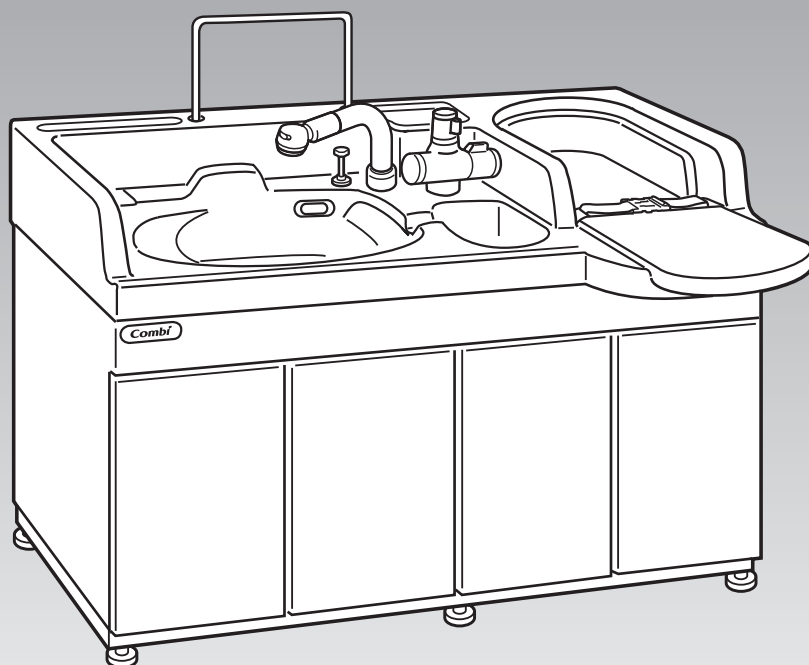
保育所、託児所、病院などで"沐浴"ができる製品です。

Combi 沐浴ユニットMU22

保存版

Combi 沐浴ユニットMU22
取扱説明書・点検マニュアル
＜保証書付＞

本書は **Combi** 沐浴ユニットMU22を安全に、また快適にご利用いただくために必要な内容が記載されています。ご使用前によくお読みの上、正しくご使用・点検ください。 また本書は大切に保管して下さい。

コンビウィズ株式会社

目 次

■取扱説明書

■点検マニュアル

■交換手順書

Combi 沐浴ユニットMU22
取扱説明書

1 製品の用途

●**Combi** 沐浴ユニットMU22（以下本製品）は施設内で沐浴をするための沐浴ユニットです。

2 安全にお使いいただくために

●ここに示した注意事項は、取り扱いを誤るとお子さまや操作しているかたへ危害や物的損害の発生が予想される事項を、危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」「注意」に区分し表示しています。ご使用前によくお読みの上、安全のために必ずお守りください。

⚠警 告	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注 意	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が起こる可能性がある内容を示しています。

3 施設のかたへのお願い

⚠警 告	●**製品を改造しないでください。** 思わぬ事故につながるおそれがあります。
	●**製品を安全に使用していただくために、日常点検と定期点検をお願いします。** 点検を怠った場合、製品の老朽化や破損が発見されず、ケガや重大事故の原因になります。
	●**故障した製品は、放置しないでください。** 誤って使用したり、お子さまが遊んだりすると、ケガや重大事故の原因になります。
	●**目的以外の用途でのご使用はおやめください。** お子さまが遊んだり、もぐったりすると、おぼれたりケガをするおそれがあります。

点検方法は、本書8ページの「点検マニュアル」をご確認ください。

⚠警 告

●ベルトは横ずれ防止のためであり、お子さまの転落を防止するものではありません。
●沐浴、着替えやおむつ交換中は、乳児を立たせないでください。(浴槽やおむつ交換台を越えて、転落するおそれがあります。)
●お子さまが作業するなど、沐浴に対して知識のない人は、絶対に使用しないでください。(使いかたを誤ったり、お子さまを保持できなかったり、思わぬ事故につながるおそれがあります。)
●おむつ交換中は、必ず固定ベルトをしてください。バックルは「カチッ」というまで差し込んでください。(乳児が動きまわると、思わぬ事故につながるおそれがあります。)
●対象月齢以上のお子さまは使用しないでください。(浴槽を越えて落下するおそれがあります。)
●沐浴以外の目的で沐浴槽を使用しないでください。(お子さまが遊んだり、もぐったりすると、おぼれたりケガをするおそれがあります。)

⚠注 意

●お湯は、混合栓で温度調節し、適温になったことを手で確認してから使用してください。(冷たい水がお子さまにかかると、お子さまをおどろかせることがあります。)
●直流水とシャワーを切り替えたとき、湯温が変わることがありますので、手などで確認してから使用してください。(熱い湯や、冷たい水がお子さまにかかると、お子さまをおどろかせることがあります。)
●沐浴以外の目的で沐浴槽を使用しないでください。(食器などを洗うと沐浴槽が傷つきます。)
●製品に大人が踏み台の代わりに乗ったり、大きな荷重をかけたりしないでください。(製品が破損します。)
●お子さまが飛び跳ねるなどの強い衝撃を加えないでください。(製品が破損します。)
●この扉の丁番の開き角度は100度までとなっています。
それ以上開きますと、座金を締め付けているビスが抜けて脱落するおそれがありますので、十分ご注意ください。

日常のお手入れ方法

⚠注 意

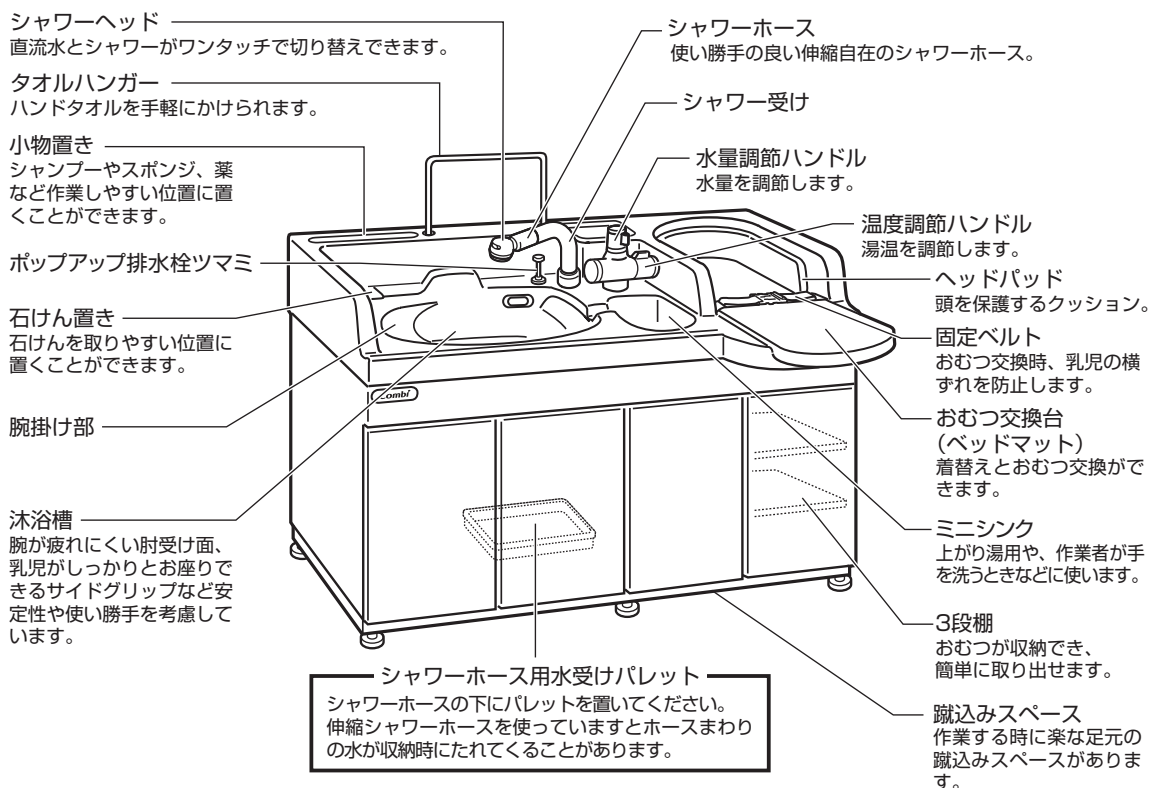
●シャワーホース用水受けパレットの水は、いっぱいになる前に捨ててください。(パレットから水がこぼれるとキャビネットの底板が腐ることがあります。)
●中性洗剤以外の洗剤または、薬品(塩酸、クエン酸など)、溶剤(シンナー、アセトンなど)を使用することはおやめください。(プラスチックや金属が劣化し、ひび割れなどの破損やシミ、変色することがあります。)
●クレンザーや、みがき粉などを使用しないでください。(研磨剤が入っているので、傷の原因となります。)
●金属たわし、ナイロンたわし、ネット付スポンジ、不織布付スポンジ、アルミ付スポンジ、メラミンスポンジなどを使用することはおやめください。(表面が傷つくことがあります。)

●キャビネット内部に置いたシャワーホース用水受けパレットに水がたまりますので定期的に確認して、中の水を捨ててください。
●本製品は乳児が直接肌に触れて使用するものなので、使用後は清掃して清潔にしてください。また使用前もほこりなどで汚れている場合がありますので、沐浴槽を水で流すなどして清掃してからお使いください。
●清掃する場合は中性洗剤を使用して、沐浴槽、ミニシンクは少し水で薄めてスポンジなどで洗い水で流してください。また、ベッド部やキャビネット部は中性洗剤を薄めたもので水拭きし、後で必ず乾拭きしてください。
●ベッドマットの周囲隙間を清掃する場合は、本書16ページの「ベッドマットの取りはずしかた」の手順でヘッドパッド、ベッドマットをはずしてから清掃してください。

4 製品仕様

品　番	MU22	製品名	Combi 沐浴ユニットMU22
対象月齢	新生児～18ヵ月まで	質　量	64kg
製品寸法	W1500×D730×H1000mm	耐用年数	10年(機構部品は7年間) ※耐用年数を経過しましたら、お取り替えをお願いいたします。
材　質	■カウンタートップ/FRP ■キャビネット/化粧合板(ポリエステル) ■扉/化粧合板(高圧メラニン) ■張り材/ウレタンレザー	色	ライトベージュ

※ 製品の仕様は改良などのため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
※ 当社は環境ISO14001に基づいた環境配慮を行っております。製品を廃棄される場合は、廃棄処理法に基づき適正な廃棄をお願いいたします。

5 各部のなまえ

取扱説明書・点検マニュアル(本書・1部)	施工説明書(1部)	混合栓取扱説明書(1部)

以下の部品があることをご確認ください。

■付属部品

- ●取扱説明書・点検マニュアル(本書1部)
- ●施工説明書(1部)
- ●混合栓取扱説明書/三栄水栓(1部)
- ●棚板(2枚)
- ●タオルハンガーネジ付き(1セット)
- ●棚ダボ(8個)
- ●小Sト6040(3個)
- ●アングル止水栓(2個)
- ●水受けパレット(1個)
- ●断熱チューブ(1個)

6 ご使用方法

⚠警告

- 製品をご使用中は、お子さまから絶対に目をはなさないでください。製品から落下したり、重大な事故につながるおそれがあります。
- 沐浴、着替えやおむつ替え中は、乳児のそばから絶対に離れないでください。
- おむつ交換中は、必ず固定ベルトをしてください。バックルは「カチッ」というまで差し込んでください。(乳児が動きまわると、思わぬ事故につながるおそれがあります。)
- 沐浴や着替え中は、乳児を立たせないでください。(乳児は思わぬ動きをして転落するおそれがあります)
- 扉の開閉は、指先をはさまないよう注意して操作してください。ケガをするおそれがあります。
- 入浴中は、浴槽の水を排水しないでください。(排水口に手足や髪の毛が吸い込まれ、おぼれたり、ケガをするおそれがあります。)
- 沐浴、着替えやおむつ交換中は、乳児を立たせないでください。(浴槽やおむつ交換台を越えて、転落するおそれがあります。)
- 故障した製品の使用および放置はしないでください。誤って使用したり、お子さまが遊んだりするとケガや、重大事故の原因になります。

⚠注意

- 沐浴槽に入れるときは、頭を左側にして入れてください。頭を右側にすると、混合栓に頭をぶつけたり、混合栓をいたずらして思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ご使用の際、シャワーホースを回転させる際には水量・温度調節ハンドルと強くぶつからないようにご注意ください。製品の故障や破損の原因となります。
- シャワーを使う場合は、石鹸などがついた手で使用しないでください。シャワーをすべらせてお子さまをケガさせるおそれがあります。
- キャビネットに水、洗剤が付着した場合は、適宜拭き取ってください。
- キャビネットの中にフタの開いた洗剤などを置かないでください。製品の腐食や破損の原因となります。
- 熱湯を直接入れないでください。冷たい浴槽に80℃を超える熱湯を入れると浴槽を傷めることがあります。先に水を少し入れてから、お湯を入れてください。
- タオルハンガーに無理な力をかけないでください。(製品が破損して思わぬ事故につながります。)

沐浴槽の使いかた

1 湯を入れる

●沐浴槽とミニシンクに湯を入れます。湯温は温度調節ハンドルで調節します。
(最初は冷たい水が出ますので、湯が出てから適温を調節してください)
●シャワーだけで済ませる場合にも少し流水して適温を選んでおきます。
●ご使用の際、シャワーホースを回転させる際には水量・温度調節ハンドルと強くぶつからないようご注意ください。製品の故障や損傷の原因になります。

2 沐浴する

●低月齢児の場合は、頭を左側にして、後頭部を保持して腕掛け部に腕をのせ、体を浮かせる感じで沐浴槽に入れ洗います。
●高月齢児の場合は、頭を左側にしてお座りさせて入れ洗います。
(頭を左側にする形状に設計されています)

3 湯から上がる

●沐浴槽から上がるときはミニシンクから手おけで上がり湯か、適温になったシャワーのホースをのばして上がり湯をかけます。
(沐浴槽のポップアップ止水栓から少しづつ湯が排水され水位が下がることがあります。水位が下がった場合は湯をたしてください)

おむつ交換台(ベッドマット)の使いかた

1 衣服を脱ぐ

●乳児をおむつ交換台に寝かせ、おむつや肌着を脱がせます。

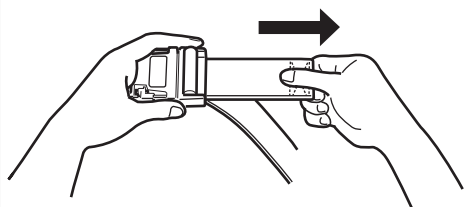
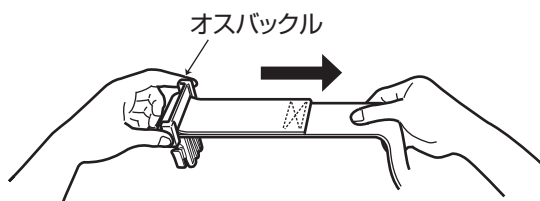
2 からだをふく

●おむつ交換台にバスタオルを敷いておき、沐浴後、バスタオルの上に寝かせからだをふきます。

3 衣服を着る

●乳児をおむつ交換台に寝かせ、おむつや肌着を着せます。

4 おむつを交換する

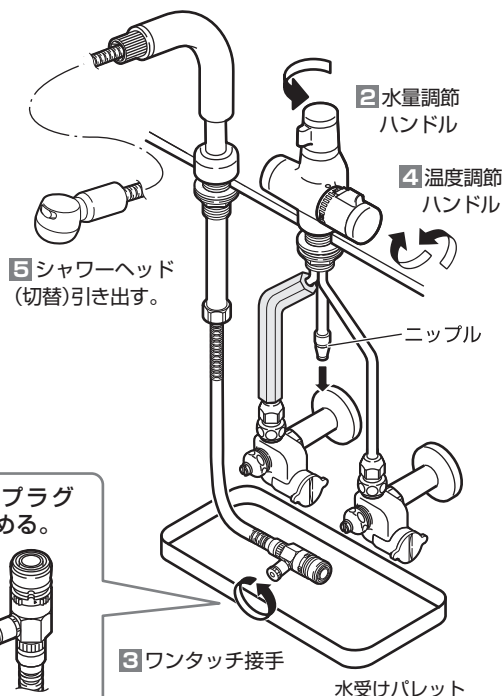
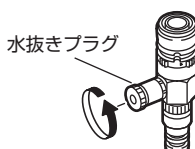
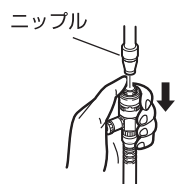
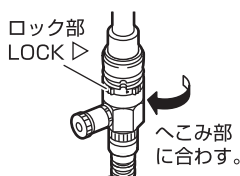
●乳児をおむつ交換台に寝かせ、固定ベルトで固定しおむつを交換します。

5 排水する

●ポップアップ排水栓ツマミを下げて水を抜きます。

排水作業は必ずお子さまを沐浴槽から出して行ってください。指や髪の毛など体が吸い込まれてケガをするおそれがあります。

7 寒冷地用の水抜き方法

凍結の可能性がある場所への設置には、水抜きのできる専用の寒冷地用部品（別売）をご用意ください。
使用していないときで、凍結のおそれがある場合には、下記の方法で水抜きをしてください。

1. 建物側の配管の水抜栓を操作する。
2. 水量調節ハンドルを吐水側へ回す。
3. ワンタッチ接手のロックを解除してニップルからはずし、ホース内の水を抜く。
4. 温度調節ハンドルをＨ側へ回して水を抜き、さらにＣ側へ回して水を抜く。
5. シャワーヘッドを引き出し、シャワーヘッドをよく振ってそのまま置く。

再使用時

- ワンタッチ接手をロック状態（抜け防止）にしてから、ニップルに接続してください。
- ストレーナ付逆止弁・水抜プラグがよく閉まっているか確認してから、通水してください。

接続後

シャワーホースを下向きに強く引っ張って抜けないことを確認してください。

8 キャビネット扉の開けかた

キャビネット扉を開けるときは、扉の下端を持って開けてください。

Combi 沐浴ユニットMU22
点検マニュアル

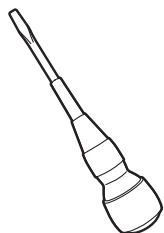
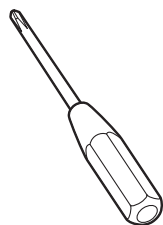
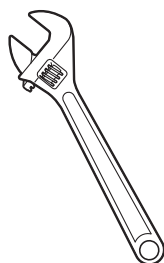
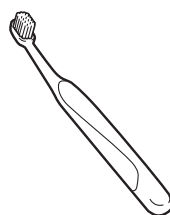
『**Combi** 沐浴ユニットMU22』を快適に、また安全にご利用いただくために必要な「日常点検」「定期点検」の内容を記載したマニュアルです。
本書の内容に従い、毎日もしくは週ごとの「日常点検」と1年ごとの「定期点検」を必ず正しく実施してください。

警告 製品を安全に使用していただくために、日常点検と1年ごとの定期点検をお願いします。点検を怠った場合、製品の老朽化や破損が発見されず、ケガや重大事故の原因になります。

日常点検	日常点検は目視・触感で行います。	**毎日または週ごと**
1年定期点検	工具を使用して1年に1回を目安に定期的に点検を行います。	**1年1回**

点検の結果、部品交換が必要な場合があります。　※補修部品の保管期間は生産終了後5年間です。

必要工具

警告 指定以外の部品・工具は使用しないでください。

マイナス
ドライバー

プラス
ドライバー
（ビット No.2）

モンキーレンチ

ナイロン毛ぶらし
（歯ブラシなど）

やわらかい布
（フキンなど）

点検日の記入

定期点検後、本書記載のチェックシートとベッドマット下に貼付の『点検ステッカー』に点検日をご記入ください。
また、点検ステッカー追加のご注文は、弊社サービスセンターにて承ります。（有償）

製品を安全にご使用いただくために日常点検と1年ごとの定期点検をお願いします。
販売元
コンビウィズ株式会社
サービスセンター
TEL：03-5806-4621
〔受付時間〕
祝祭日を除く月～金
10：00～17：00
338456090　0706（1）

点検年月日	点検者
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	

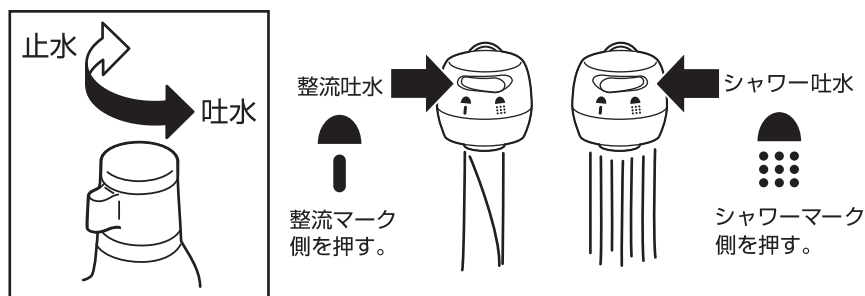
1 日常点検

点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
① 流水性の確認	動作・目視	水・お湯がスムーズに流れること	修理
② 湯温の確認	動作	設定温度の湯が出ていること	修理
③ シャワーヘッドの動作確認	動作	シャワーヘッドの出し入れがスムーズであること	修理
④ シャワー受けの動作確認	動作	シャワー受けの回転および、上下の動きがスムーズであること	修理
⑤ シャワーホース用水受けパレットの排水	目視	水がたまっていないこと	水受けパレット内の排水
⑥ 銘板、オーバーフロー目皿部のネジ類のつぶれ、変形	目視	十字穴などのつぶれ、ネジの変形、錆の発生のないこと	銘板ネジ類：交換 オーバーフロー目皿部ネジ類：修理・交換
⑦ タオルハンガーの確認	目視・触感	タオルハンガーのゆるみ、ぐらつきの確認	修理
⑧ ベッドマットの確認	目視・触感	固定ベルトの切れ、バックルのひび割れの確認	交換
⑨ 本体各部（浴槽、キャビネットなど）に破損、割れの確認	目視・触感	ひび割れ、爪の引っかかりがないこと	修理・交換
⑩ 扉のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること	動作	手で動かし、ぐらつきの有無の確認、開閉具合、閉まり具合の確認	修理
⑪ ステッカーのはがれなど	目視	はがれ、汚れなどないこと	交換
⑫ 配管の破損および水漏れの確認	目視・触感	割れ、破損、水漏れのないこと	修理・交換

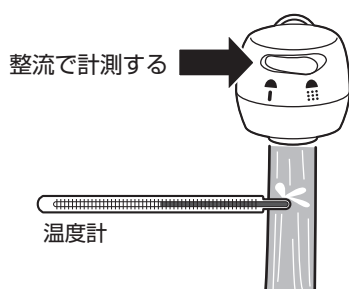
1 日常点検手順

1 流水性の確認（日常点検項目①）

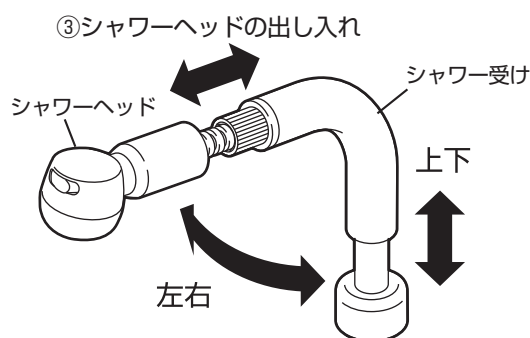
水、お湯がスムーズに流れること

●吐水、止水ハンドルをまわし吐水、止水がスムーズに行われるか確認を行う。

2 湯温の確認（日常点検項目②）

設定温度の湯が出ていること

●温度調節ハンドルを回し、設定温度に設定し、湯温の計測を行う。

3 シャワーヘッドの動作確認（日常点検項目③）

シャワーヘッドの出し入れがスムーズであること

4 シャワー受けの動作確認（日常点検項目④）

シャワー受けの回転および、上下の動きがスムーズであること

5 シャワーホース用水受けパレットの排水（日常点検項目⑤）
水がたまっていないこと

6 銘板、オーバーフロー目皿部のネジ類のつぶれ、変形の確認（日常点検項目⑥）
十字穴などのつぶれ、ネジの変形、錆の発生のないこと

7 タオルハンガーの確認（日常点検項目⑦）
タオルハンガーのゆるみ、ぐらつきの確認

8 ベッドマットの確認（日常点検項目⑧）
固定ベルトの切れ、バックルのひび割れの確認

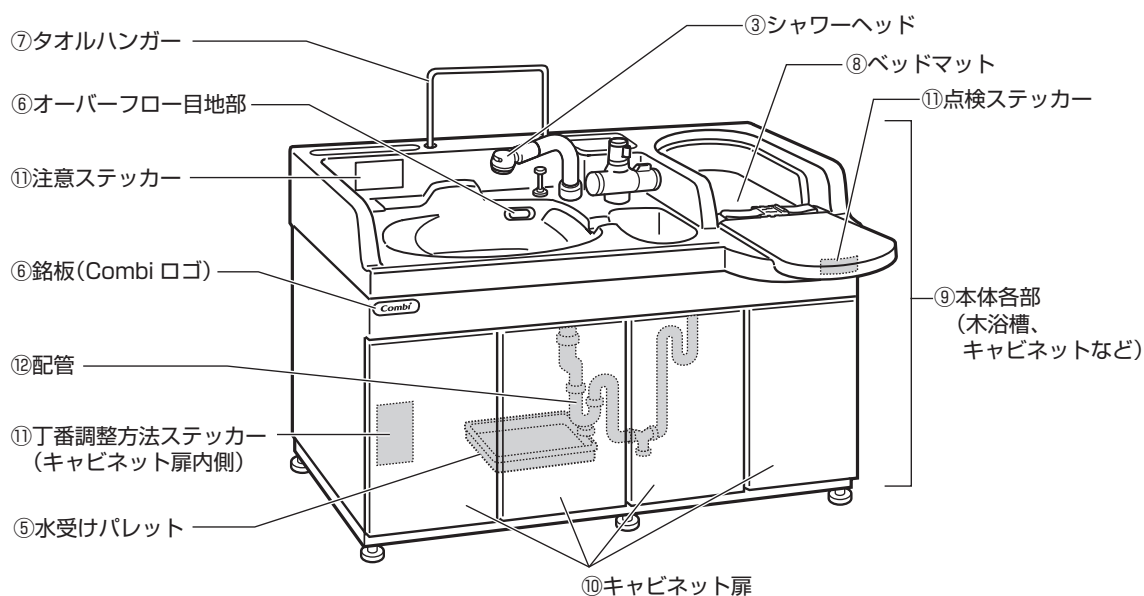
9 本体各部（沐浴槽、キャビネットなど）に破損、割れのなきこと（日常点検項目⑨）
ひび割れ、爪の引っかかりがないこと

10 扉のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること（日常点検項目⑩）
手で動かし、ぐらつき有無、開閉具合、閉まり具合の確認

11 ステッカーのはがれなど（日常点検項目⑪）
はがれ、汚れなどないこと

12 配管の破損および水漏れの確認（日常点検項目⑫）
割れ、破損、水漏れのないこと

Combi

毎日または週ごと

Combi 沐浴ユニットMU22 日常点検 チェックシート

このページをコピーして点検にご利用ください。記入した後は大切に保管してください。

点検項目	点検方法 動作・目視・触感	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日
		／	／	／	／	／	／	／
		台	台	台	台	台	台	台
①流水性の確認	動作・目視							
②湯温の確認	動作							
③シャワーヘッドの動作確認	動作							
④シャワー受けの動作確認	動作							
⑤シャワーホース用水受けパレットの排水	目視							
⑥銘板、オーバーフロー目皿部のネジ類のつぶれ、変形	目視							
⑦タオルハンガーの確認	目視・触感							
⑧ベッドマットの確認	目視・触感							
⑨本体各部（浴槽、キャビネットなど）に破損、割れの確認	目視・触感							
⑩扉のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること	動作							
⑪ ステッカーのはがれなど	目視							
⑫ 配管の破損および水漏れの確認	目視・触感							
点検者								
承認者								

点検時に異常を発見したら、ただちに**使用を中止**し、コンビウィズ（株）サービスセンターまでご連絡ください。

特記事項

2 定期点検

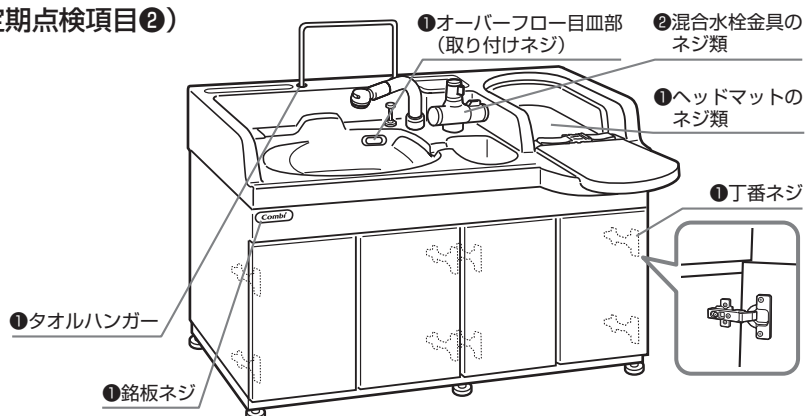
点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
定期点検項目			
❶ ネジ類の増し締め	プラスドライバー	増し締め確認	増し締め処置
❷ 水栓類の増し締め	モンキーレンチ	増し締め確認	増し締め処置
日常点検項目			
① 流水性の確認	動作・目視	水・お湯がスムーズに流れること	修理
② 湯温の確認	動作	設定温度の湯が出ていること	修理
③ シャワーヘッドの動作確認	動作	シャワーヘッドの出し入れがスムーズであること	修理
④ シャワー受けの動作確認	動作	シャワー受けの回転および、上下の動きがスムーズであること	修理
⑤ シャワーホース用水受けパレットの排水	目視	水がたまっていないこと	水受けパレット内の排水
⑥ 銘板、オーバーフロー目皿部のネジ類のつぶれ、変形	目視	十字穴などのつぶれ、ネジの変形、錆の発生のないこと	銘板ネジ類：交換 オーバーフロー目皿部ネジ類：修理・交換
⑦ タオルハンガーの確認	目視・触感	タオルハンガーのゆるみ、ぐらつきの確認	修理
⑧ ベッドマットの確認	目視・触感	固定ベルトの切れ、バックルのひび割れの確認	交換
⑨ 本体各部（浴槽、キャビネットなど）に破損、割れの確認	目視・触感	ひび割れ、爪の引っかかりがないこと	修理・交換
⑩ 扉のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること	動作	手で動かし、ぐらつきの有無の確認、開閉具合、閉まり具合の確認	修理
⑪ ステッカーのはがれなど	目視	はがれ、汚れなどないこと	交換
⑫ 配管の破損および水漏れの確認	目視・触感	割れ、破損、水漏れのないこと	修理・交換

2 定期点検手順

1 ネジ類の増し締め（定期点検項目❶）

2 水栓類の増し締め（定期点検項目❷）

Combi

1年ごと

Combi 沐浴ユニットMU22 定期点検 チェックシート

このページをコピーして点検にご利用ください。記入した後は大切に保管してください。

点検項目	点検方法 動作・目視・触感	年月日 / / 台	年月日 / / 台	年月日 / / 台	年月日 / / 台	年月日 / / 台
定期点検項目						
❶ネジ類の増し締め	プラスドライバー					
❷水栓類の増し締め	モンキーレンチ					
日常点検項目						
①流水性の確認	動作・目視					
②湯温の確認	動作					
③シャワーヘッドの動作確認	動作					
④シャワー受けの動作確認	動作					
⑤シャワーホース用水受けパレットの排水	目視					
⑥銘板、オーバーフロー目皿部のネジ類のつぶれ、変形	目視					
⑦タオルハンガーの確認	目視・触感					
⑧ベッドマットの確認	目視・触感					
⑨本体各部（浴槽、キャビネットなど）に破損、割れの確認	目視・触感					
⑩扉のゆるみやぐらつきがなく、開閉がスムーズであること	動作					
⑪ ステッカーのはがれなど	目視					
⑫ 配管の破損および水漏れの確認	目視・触感					
点検者						
承認者						

点検時に異常を発見したら、ただちに**使用を中止**し、コンビウィズ（株）サービスセンターまでご連絡ください。

特記事項

Combi 沐浴ユニットMU22
交換手順書

日常点検や定期点検で異常を発見し、新しい部品と交換する場合は、
この交換手順書をよくお読みの上、正しく交換してください。

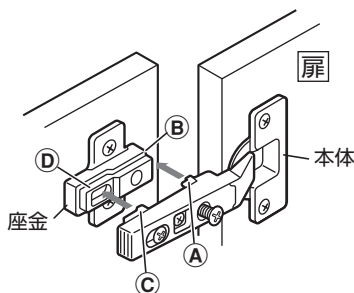
専用台扉の交換手順

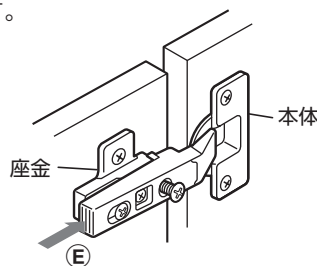
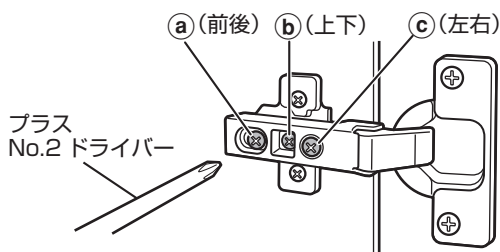
注意

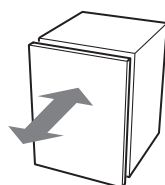
●各調節ネジは、必ず手回しドライバーにて、調節ネジの調節範囲内での微調整を行ってください。
●エアー・電動・充電ドライバーでの調整は、ネジのかしめ加工部に過大なトルクが加わった場合に、ネジ山の破損（空回りや調節ネジの脱落）により、機能不良となることがありますのでおやめください。

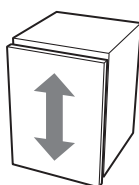
扉の取り付けと取りはずし方法

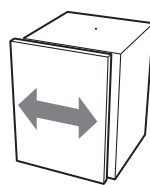
<取り付け方法>

Ⓐのツメを Ⓑ部にひっかけ、Ⓒのツメを Ⓓ部にはめる。

<取りはずし方法>

Ⓔ部を押しロック解除し、丁番の本体を座金から取りはずす。

扉の調節方法

調節可能範囲

ⓐ 前後調整 ±2mm
ⓑ 上下調整 ±1.5mm
ⓒ 左右調整 ±2mm

前後調節

ネジⓐをゆるめ、扉を前後に動かし適当な位置を選び、しっかりネジを締めます。

上下調節

ネジⓑをゆるめ、扉を上下に動かし適当な位置を選び、しっかりネジを締めます。

左右調節

ネジⓒを左右に回して行います。適当な位置を選び、しっかりネジを締めます。

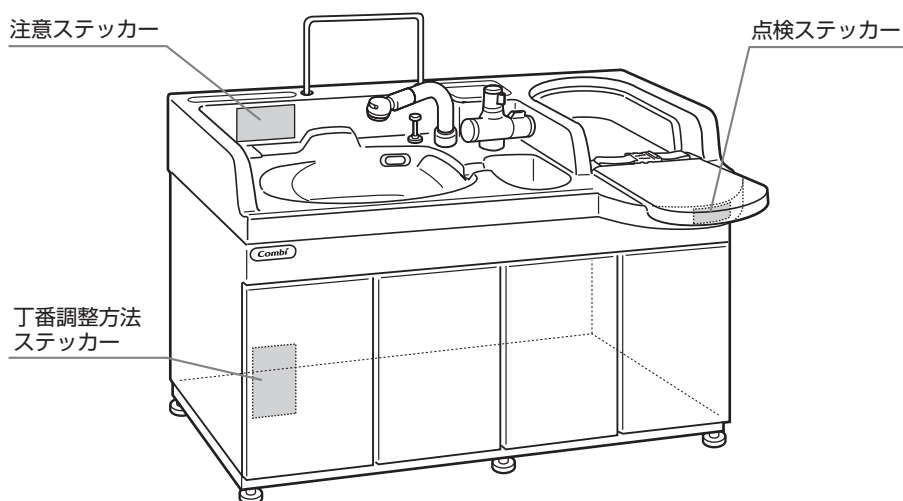
<扉がガタつく場合は>

扉を固定する前後調節ネジⓐは緩んでいませんか？
緩んでいる場合は、しっかり締め直してください。

注意

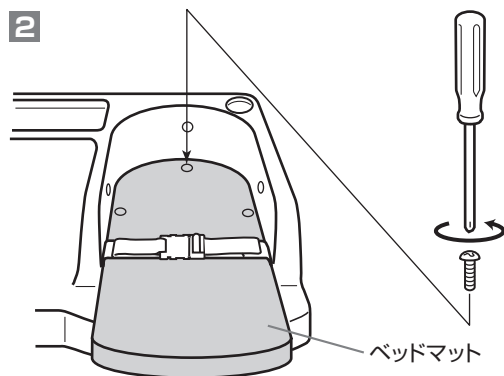
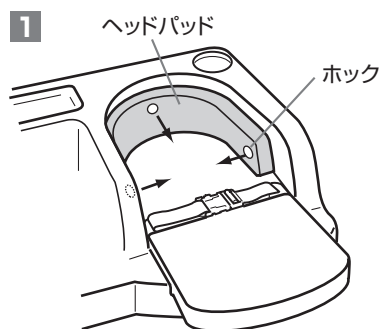
この扉の丁番の開き角度は100度までとなっています。それ以上開きますと、座金を締め付けているビスが抜けて脱落するおそれがありますので、十分ご注意ください。

ステッカー交換手順

ステッカーの表示がかすれて見づらくなったり、はがれたりした場合は交換します。その際は、前と同じ位置に貼るようにしてください。

ベッドマット交換手順

ベッドマットの取りはずしかた

1 ヘッドパッドを矢印の方向に引っぱり、3ヵ所のホックをはずす。

2 ベッドマット取付用ネジ（3ヵ所）をプラスドライバーではずし、ベッドマットをはずす。

ベッドマットの取り付けかた

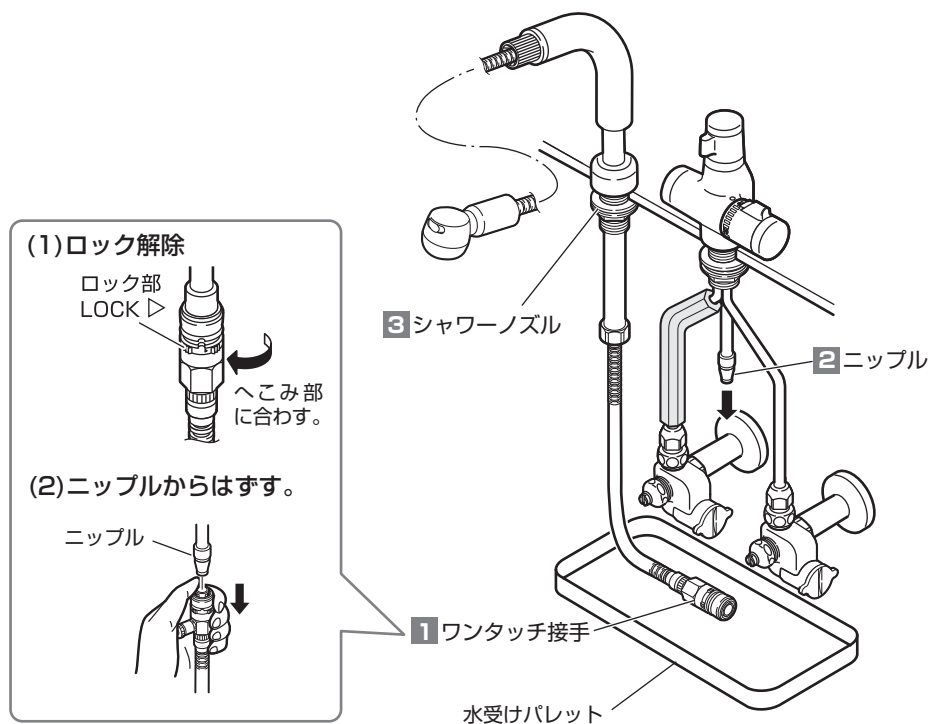
1 ベッドマットを奥側に押しつける。

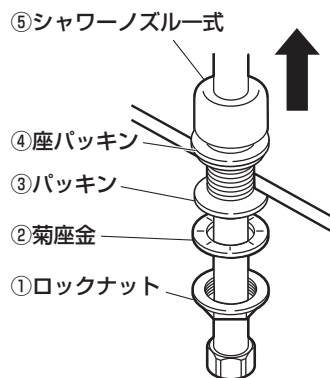
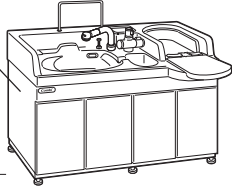
2 ベッドマット取付用ネジ（3ヵ所）を取付穴に合わせ、プラスドライバーで締め付ける。

3 ヘッドパッドのホック（3ヵ所）を押してはめる。

シャワーノズル一式交換手順

シャワーノズルの取りはずし方法

1 ワンタッチ接手をロック解除し、**2** ニップルからはずす。

3 シャワーノズル一式を沐浴槽本体から次の順序で取りはずす。

①ロックナットをはずします。
②菊座金をはずします。
③パッキンをはずします。
④座パッキンをはずします。
⑤最後にシャワーノズル一式を引き抜き取り、はずします。

シャワーノズルの取り付け方法

1 新しいシャワーノズル一式を取りはずし方法の逆順序で取り付ける。

①新しい座パッキンをワンタッチ接手から通し、シャワーノズルを沐浴槽本体の穴に通します。
②次に、パッキン⇒菊座金⇒ロックナットの順に部品をワンタッチ接手から通し固定します。

2 ワンタッチ接手をニップルに通し、固定する。

3 交換完了。

保　証　書

製品種類	**Combi 沐浴ユニットMU22**	製造番号 （キャビネット左側板内側の製造番号を参照ください。）
保証期間	お取り付けから 正規のご使用下で1年間	

お施主様	お名前
	ご住所　〒　　ー TEL.（　　）　　ー
ご購入業者	
納 品 日	年　　月　　日

取扱説明書および本体注意書きラベルなどの記載内容に従った正常な使用状態で故障した場合、本書を提示の上、ご購入業者または下記コンビウィズ株式会社にご連絡ください。保証期間内にて無料で修理いたします。

●保障期間中であっても、次の場合は有料修理となります。
①本来の使用用途以外でのご使用に起因する故障。
②適切な維持管理を怠ったことに起因する故障。
③メーカー、販売元が指定する業者以外の修理・調整・改造に起因する破損・故障。
④保管環境の影響など本製品以外の外部影響に起因する破損・故障。
⑤ご購入後の輸送、落下などに起因する破損・故障。
⑥経年劣化、消耗部品の過酷な使用状況による故障。
⑦水質汚濁（赤錆も含む）による目詰まりや給湯不良。
⑧天災 / 天変地異 (火災、落雷、噴火、洪水、津波、地震)、戦争 / 暴動等による不具合。
⑨本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入の無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
⑩本書のご提示がない場合。
⑪有料修理の場合に要する発送運賃。

●上記保証は日本国内においてのみ有効です。
●定期点検を実施しなかった場合の不具合は対象外です。
●製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、当社サービスセンターにお問い合わせください。
●保証書にご記載いただきました個人情報につきましては、個人情報保護法の規定に従い、お客様の故障修理についてのみ利用させていただきます。それ以外の用途には利用いたしません。

※定期点検の結果、不具合発生が認められた場合は、上記範囲内での保証とさせていただきます。

販売元 コンビウィズ株式会社
〒111-0041　東京都台東区元浅草2-6-7
サービスセンター　TEL:03-5806-4621　FAX:03-5828-7630
〔受付時間〕祝祭日を除く月〜金 10：00〜17：00

Combi

本マニュアルは、コンビウィズ ホームページ(www.combiwith.co.jp)からもダウンロード(PDF)できます。ご活用の程、お願いいたします。

●製品に関するお問い合わせ

販売元 コンビウィズ株式会社

本社 / 東京営業所 〒111-0041 東京都台東区元浅草2-6-7
TEL.03-5828-7631 FAX.03-5828-7630
大阪営業所 〒540-0026 大阪市中央区内本町2-4-16
TEL.06-6942-0384 FAX.06-6942-0398

●修理・点検に関するお問合せ/コンビウィズ㈱ サービスセンター

[受付時間] 祝祭日を除く、月~金 10:00 ~ 17:00

TEL.03-5806-4621 FAX.03-5828-7630

272256060 1507(1)